

千葉県野田市での小学生事件について

代表質問



政友会
高崎 和夫 議員

黒羽高校の支援について

質問…本市としての思いと対応について伺います。

答弁…虐待を受けている子供を始めとする要保護児童の早期発見や、適切な保護を図るためには、関係機関がその子供達に関する情報や考え方を共有し、適切な連携のもとで対応していくことが重要である。多数の関係機関の円滑な連携・協力を確保するために、各市町村には要保

質問…学校運営協議会委員への協力について伺います。

答弁…学校運営協議会の設置により、地域と学校が一体となり、地域と共にある学校づくりを進めることができるかと期待している。本市としても同協議会に参加をし、必要な協力をしていく。学校側から、地元行政として委員の打診を受け、藤原副市長を推薦した。

護児童対策地域協議会が設置されており、本市では子ども幸福課が調整機関となっている。本市の要保護児童対策地域協議会では子供や家庭の変化する状態に対応するために、実際虐待対応に携わっている県北児童相談所・大田原警察署・教育委員会等々の担当者を構成員とした実務者会議を毎月一回開催し、要保護児童等に関する情報共有、

対応方針や支援方法などの検討を行っている。今回の様なアンケート開示などを迫る問題が本市で起きた場合は、要保護児童対策地域協議会で管理をしている児童のため、学校だけで対応するのではなく、子ども幸福課が関係者を召集し情報のすり合わせと共にリスクアセスメントを行い、対応していく。

質問…黒磯駅からバスの支援については、現在那須塩原駅より朝はバス2台で運行されている。現在は黒磯駅から那須塩原駅に電車で行き、そこからバスで黒羽高校に通学している生徒が44名いる。黒磯駅から県道黒磯黒羽線を利用しているの支援について伺います。

答弁…黒羽高校に対しては、利便性の向上を目指し、毎年年度

初めに、全校生徒に対し、路線バス利用アンケートを実施している。黒磯駅を発着とするバス路線については、以前にも学校及びPTAからも要望があり、来年度、黒磯駅からの利用について調査をした上で、路線の新設等について検討していきたい。